



令和3年度 中原っ子だより

うるま市立中原小学校 発行者 大里元児
第6号 令和3年11月8日(月)
※学校HPにも掲載しております(カラー版)
中原小HP QRコード



子供達のすこやかな育ちの土台となるのは

子供達の未来に必要な力は？

科学技術の進歩は私たちの想像をはるかに超えたスピードで進んでいるようです。中原っ子が新社会人となる頃には、今ある仕事の多くは大きく変化し、65%の子は今は存在しない仕事に就くという予測も出されているくらいです。また、人生100年時代とも言われます。こうした未来予測の中、未来を生きる子供達に必要な力とは？そして私たちが育みたい力はなんでしょうか？

様々な意見や議論がある中で最近よく注目されているのが「非認知能力」と呼ばれる力です。簡単に言うと学力テストでは測りにくい力です。代表的な例としては、「コミュニケーション力・思いやり・共感性・忍耐力・自尊感情・意欲……国際機関OECDでは「目標を達成する力」「他者と協働するための力」「感情のコントロール」といった3つの力に整理して示しています。

県やうるま市の学力向上の施策には、自己肯定感や自尊感情といった非認知能力を高めていくことで子供達の学びや育ちを支えていこうという考え方が反映されています。

こうした背景から本校においては、「なかよくする力・心」「かんがえる力」「はっけんする力」「らしさを発揮する力」…頭文字で「なかはら」になる4つの力を育てていきたいと考えているところです。

各ご家庭におかれましては、子育てを通してお子さんにどのような力を育みたいとお考えでしょうか？
答えが一つではない時代……共に考えていきたいと思えます。

すやすや10

学童期に必要な睡眠時間は10時間程度といわれます。

睡眠時間は子供達の心と体の成長に大きく影響するものです。

登校時だるそうに歩いてくる子、授業中うつ伏せて寝ている子、イライラ不機嫌そうに1日を過ごしている子など心配になります。聞くと夜遅くまで起きていたと答える子も少なくありません。お子さんの日々の生活リズムについて今一度見直す機会を持ってみませんか？



てくてく100

登校時100m歩くと下校時も合わせて1日200m歩くことになります。

授業日数は概ね200日なので、1年間で200m×200日=40000m(40Km)

片道200mだと80Km、片道300mだと120Kmで1年間で沖縄本島を縦断するくらいの距離になります。さらに、雨や風、暑さや寒さという想像以上の困難もあります。

登校途中で出会う人とあいさつを交わしたり、季節を感じたりすることを通して得られる生活体験…毎日、徒歩登校を続けることで培われる心や体力には、はかりしれないものがあるように思います。



睡眠や日々の徒歩登校といった生活習慣から培われる力が、生きる基礎体力となり子供達の人生を支えてくれるのではないかと思います。

※うるま市では毎月第3週を「てくてく登校週間」として徒歩登校を奨励しています。

学校の働き方改革を推進しています。

【電話対応時間】 7:45～17:45

ご理解、ご協力の程よろしくお願ひいたします。
緊急の場合は警察・消防等へお願ひします。

【電子欠席届】

右のQRコードを読み取って
活用ください。HPからも可能です。

